

石川方部商工会広域連携協議会

令和6年度 経営発達支援計画実施 事業評価委員会

報告書

【開催日時】 令和7年2月18日（火）
午後2時から

【構成機関】 石川郡内5町村行政
・石川町 ・玉川村 ・平田村 ・浅川町 ・古殿町

石川地区商工会広域連携協議会
・石川町商工会・玉川村商工会・平田村商工会
・浅川町商工会・古殿町商工会

【出席評価委員】

- ・評価委員長 鈴木 龍京（税理士・中小企業診断士）
- ・評価委員

- ・地区内行政 本郷 周良（石川町）
上野 竜弥（玉川村）
降矢 敏之（平田村）
平松 洋昭（古殿町）
- ・商工会 有松 良治（石川町商工会）
野崎 一幸（玉川村商工会）
三森 理有（古殿町商工会）

※欠席の評価委員については、後日担当職員が内容を説明し評価を実施。
職員については広域連携事務局長及び経営指導員

評価方法：実施した内容を職員が報告書及び資料・別紙を使用しながら説明し、評価委員がA・B・C・Dの4段階で評価を行う

※計画については事前に説明してあるため記載及び説明を省略した。

※令和6年度は商工会役員の改選があったため、新たな役員に対し経営発達支援計画とは？事業評価委員会を開催する理由など説明を行った。

【実施期間】 令和6年4月1日～令和7年3月31日

【計画と実施内容及び評価】

3. 地域の経済動向調査に関すること

■事業計画

- ・ 地区内小規模事業者の現状を対話と傾聴により調査し、「RESAS」や景気動向調査と比較し、小規模事業者の事業計画策定への活用を支援する。

① 石川地域の経済動向分析

【調査対象】 石川地区内35事業者（経営指導員1人あたり5者）

（小売業・サービス業・飲食宿泊業・製造業・建設業から均等に実施する）

【調査手法】 経営指導員等が調査対象者を巡回訪問し独自調査票をもとに対話と傾聴を重視したヒアリングにて半期に1度調査を行う。

【調査項目】 業況・景況感・売上推移・今後の売上予測・資金繰り・設備投資・DX取組みなど

【分析方法】 経営指導員等が法政大学経営大学院と連携し、分析を行う。

【公表回数】 年2回公表する

【地域の経済動向調査の目標数値】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
分析数	15	5	5	5	5	35
公表数	2	2	2	2	2	10

●実施内容

【実施内容報告】

地区内小規模事業者の現状把握について、令和6年上半期と下半期の2回に分け、地域経済動向調査を業種別に実施した。実施方法については、各商工会において担当職員が、巡回訪問し対話と傾聴により調査を行った。また、商工会経営支援システムより事業所の財務データを活用するなど、財務データから事業所個社の課題把握に努めました。

- ・ 調査対象：石川地区内35事業者（経営指導員1人あたり5社）
（業種：小売業、サービス業、飲食宿泊業、製造業、建設業）

【地域経済動向調査件数及び公表回数】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
調査件数	15	5	5	5	5	35
分析件数	15	5	5	5	5	35
公表回数	2	2	2	2	2	10

■評価委員 評価

- ・ 評価

A	B	C	D
2	9	0	0

【評価委員長コメント】

- 対話と傾聴を重視したヒアリング、特に傾聴力は経営支援において大変重要です。
- 目標として設定された調査対象事業者 35 社(経営指導員 1 人あたり 5 社)に対し、実際の調査も計画通りに実施されました。
- 調査結果は年 2 回公表され、地域の経済状況を可視化することに貢献しました。
- 特に前年比の増収、増益率、黒字割合等、興味深いデータをまとめることができました。
- 物価・燃料高等と価格転嫁の問題という全国的な問題は、当地域でも発生していることが分かりました。

4. 需要動向調査に関すること

■実施計画

自社の提供する商品開発・改良に前向きに取り組んでいる小規模事業者に対して、首都圏で開催される商談会への出展を支援し会場内でバイヤー等へアンケート調査を実施する。全国各地から集まるプロのバイヤーにアンケート調査を行うことで、経営資源の乏しい小規模事業者の製造販売する商品の課題や改善点を抽出しフィードバックすることで商品開発・改良へのブラッシュアップを支援する。

【調査対象】 地区内で新商品開発・商品改良による販路開拓を目指している小規模事業者5者

【調査手法】 バイヤーの集まる商談会で小規模事業者の商品を活用シーンごとに分けたアンケート調査票を作成し、支援対象事業者とともに経営指導員がヒアリングによるアンケート調査を実施する。アンケート調査の際には、試食試飲及びサンプル配布を実施しバイヤーからより内容の濃いアンケート調査に繋げる。

【サンプル数】 1商品につきバイヤーからのアンケート調査人数10人(件)

【調査項目】 商品サイズ・パッケージ(見せ方) 価格・品質や食感・容量

【アンケート調査の目標数値】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
対象事業者	1	1	1	1	1	5
調査件数	10	10	10	10	10	50

●実施内容

【実施内容報告】

地区内の食品製造販売を行っている事業者へ商品改良への意向調査を行った。当初の計画では昨年同様「地方銀行フードセレクション」に出展し現地で試食・試飲を入れたマーケティング調査を予定していたが、伴走補助金の不採択に伴い計画を変更し、11月15日(金)～17日(日)開催の「ニッポン全国物産展 2024」の3日間及び11月30日(土)～12月1日(日)開催した「石川方部 6次化商品物産展」の2日間において試食を入れたマーケティング調査を行った。

【アンケート調査件数】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
対象事業者	2	0	0	0	0	2
調査件数	129	0	0	0	0	129

■評価委員 評価

・評価

A	B	C	D
1	8	2	0

【評価委員長コメント】

- ・ 需要動向調査は、商談会や物産展を活用し、バイヤーをターゲットとしたアンケート調査を実施した点が評価できます。
- ・ 目標数値として設定された調査件数 50 件に対し、実績は 129 件と大幅に上回りました。
- ・ 今後は、バイヤーや企業向けの調査手法の精査を行い、事業者の販路開拓に直結する調査を強化することが求められます。

5. 経営状況の分析に関すること

■実施計画

- ・ 自社の経営分析を行う事業者の発掘のために経営分析セミナーを開催する。実際に事業者自ら経営分析を行うセミナーを通じて自社の強み・弱みなどの気づきを与えることで本質的な課題を把握し課題設定へ取り組む事業者の掘り起こしを行う。また、セミナー参加事業者以外の小規模事業者に対しても巡回訪問をきっかけに「ローカルベンチマークシート」や「経営デザインシート」「SWOT分析」にて財務・非財務の分析し、①自社の経営基盤の強化に取り組む事業者、②事業再構築に取り組む事業者、③事業承継に取り組む事業者、の経営状況分析を行い、経営者自身が腹落ちした本来の課題設定を支援する。

◇経営分析セミナー

【募集方法】チラシを作成し巡回・窓口対応の際に案内及びホームページにて広く周知する。

◇経営分析の内容

- 【対象者】・経営指導員等が巡回指導時の対話と傾聴の中から特に経営分析による本当の課題設定の必要性が高いと感じた小規模事業者。
- ・ 自社の経営改善に意欲的で販路開拓に取り組んでいる小規模事業者。
 - ・ 事業承継や新たな事業展開を検討している小規模事業者。
 - ・ 経営分析セミナーに参加した小規模事業者の経営者及び従業員

【分析手法】「ローカルベンチマークシート」や「経営デザインシート」等を活用して小規模事業者と一緒に経営指導員等が分析を行う。また、より専門的な分析が必要な小規模事業者には外部専門家と連携して分析を行う。

【分析項目】①定量分析（財務分析）

売上推移・営業利益率・粗利益率・損益分岐点・流動比率・固定比率等

②定性分析（SWOT分析）

経営資源（ヒト・モノ・カネ・情報）、SWOT分析、DX取組、要因分析等

【経営分析セミナー】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
開催数	1	1	1	1	1	5
参加者数	4	4	4	4	4	20

【経営状況分析数】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
分析事業者	60	20	20	20	20	140

●実施内容

【巡回指導による経営状況の分析】

経営指導員等が巡回訪問の際に、事業者の経営内容を確認しながら現状の経営状況の分析を対話と傾聴を取り入れながら行った。

【経営分析事業者数】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
巡回訪問	93	12	13	29	24	171
セミナー	0	0	0	0	0	0
合計	93	12	13	29	24	171

■評価委員 評価

・評価【経営分析セミナー】 セミナーの開催0のためD評価

A	B	C	D
0	0	0	11

【経営分析事業者数 報告】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
06 分析事業者数	93	12	13	29	24	171

■評価委員 評価

・評価

A	B	C	D
2	8	1	0

【評価委員長コメント】

- 経営分析セミナーの開催はありませんでしたが、巡回訪問による経営状況分析が実施され、事業者の経営課題把握に貢献した点は評価できます。
- 目標として掲げた分析事業者数 140 社に対し、実績は 171 社と達成されました。
- 計画していたセミナーのスケジュールが実施できなかった点は、事業推進上の課題となり、次年度の安定的な事業遂行が求められます。

6. 事業計画策定支援に関すること

■実施計画

経営状況の分析を実施し課題設定を行った小規模事業者に対し、課題解決へ向けた巡回指導を重点的に行い、対話と傾聴を取入れ経営者自ら「経営デザインシート」を活用して今後の将来の構想をまとめ、事業者の潜在力を引き出した事業計画策定を支援する。また、経営改善と強化や DX 化を目的とした事業計画策定セミナーの開催により事業計画策定事業者の発掘と計画書策定を支援する。

① 事業計画策定セミナーの開催

【支援対象者】・経営状況分析を実施した小規模事業者

- ・事業者自身が本質的な課題に気づき課題設定を行った小規模事業者
- ・自社の潜在力に気づき能動的アクションに移った小規模事業者

【事業計画策定セミナー】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
開催数	3	3	3	3	3	15

参加者数	4	4	4	4	4	20
------	---	---	---	---	---	----

② 事業承継・創業計画策定セミナーの開催

- 【支援対象者】・経営状況分析の際に事業承継の必要性に気づいた小規模事業者
 ・課題設定に事業承継を設定した小規模事業者
 ・事業承継の際に新分野進出や創業など新たな事業展開を目指す小規模事業者

【事業承継・創業計画策定セミナー】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
開催数	2	2	2	2	2	10
参加者数	16	6	6	6	6	40

③ DX活用セミナーの開催

- 【支援対象者】・経営にDXの取り組みが必要と気づいた小規模事業者
 ・DXに関心があり、事業に意欲的に取り入れようとする小規模事業者

【DX推進セミナー】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
開催数	1	1	1	1	1	5
参加者数	4	4	4	4	4	20

【事業計画策定者数】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
策定者数	45	15	15	15	15	105

●実施内容

①事業計画策定セミナー

◎BCP策定セミナー

地震や台風などの自然災害やウイルス感染症流行など突発的に発生する災害において、被害を最小限に抑える事前対策と被災後の早期の事業復旧を可能とするための計画策定又は改善に対し、事業継続計画（BCP）及び事業継続強化計画の策定の必要性とそのメリットについてのセミナーを行い、災害に備えた準備と対策を意識した経営の構築を目指す。

【BCPセミナー開催及び参加者数】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
開催数	2	2	2	2	2	10
参加者数	13	0	0	2	1	16

■評価委員 評価

・評価

A	B	C	D
0	9	1	1

② 事業承継・創業計画策定セミナー

◎創業・事業承継スクール

地域内で創業や第2創業・事業承継を検討している方々へ本スクールを周知することで起業や事業承継、第2創業へ挑戦のキッカケとなった。

また、スクール受講により経営するために必要な知識とやりたい事業での自身の強みの見える化を図った。

【スクール開催及び参加者数】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
開催数	4	4	4	4	4	20
参加者数	47	1	5	8	7	68

■評価委員 評価

・評価

A	B	C	D
9	2	0	0

③ DX推進セミナー

◎ChatGPTセミナー

小規模事業者にてITを推進するにあたり、ChatGPTを活用した事業者向けのセミナーを開催し、ビジネスに活用できる活用方法を学ぶことができた。

ChatGPTの活用における例題やリスク管理、自社の課題など、場面場面での活用方法を学ぶことでビジネスの幅が広げることにつながった。

【ChatGPTセミナー開催及び受講者数】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
開催数	1	1	1	1	1	5
参加者数	6	0	0	1	2	9

■評価委員 評価

・評価

A	B	C	D
1	8	2	0

【巡回指導による事業計画策定支援】

経営指導員等が巡回訪問の際に先に経営状況の分析を行った事業者に対し、今後の経営ビジョンも含め、ヒアリングによる事業者への「気づき」を与えながら自社の強みを活かした事業計画の策定を行った。

【事業計画策定者数】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
セミナー	66	1	5	11	10	93
巡回指導	16	2	3	8	3	32
合計	82	3	8	19	13	125

■評価委員 評価

・評価

A	B	C	D
1	10	0	0

【評価委員長コメント】

- BCP(事業継続計画)策定セミナーの開催により、災害対策に関する意識向上が図られました。
- 目標として設定された事業計画策定者数 105 社に対し、実績は 134 社と上回る結果となりました。
- 各商工会における参加者数にばらつきがあり、事業者への周知・参加促進が今後の課題といえます。

7. 事業計画の策定後の実施支援に関すること

■事業内容

- ・石川地区内で共通のフォローアップシートを作成し事業計画を策定した事業者を対象として経営指導員等が定期的な巡回訪問を行い、経営者のみならず従業員からも対話と傾聴により策定した計画の進捗状況の確認と新たな課題についてヒアリングを実施し定期的にフォローアップを行う。

フォローアップ頻度については、事業計画策定事業者105者の内2割の21者は毎月1回、他の84者は4半期に1回とする。ただし事業者からの要請や経済環境等の変化によって必要性が高まった際などにはフォローアップ頻度の変更を臨機応変に対応する。

- ・また、専門的な支援が必要な際には外部専門家によるアドバイスをを行い、小規模事業者の自走化へ向けた支援を行う。

【フォローアップ事業者数】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
事業者数	45	15	15	15	15	105

●実施

内容

◎巡回訪問によるフォローアップ

事業計画を策定した事業者を巡回訪問し、策定した計画の進捗状況や見直し・外部環境の変化について対話と傾聴を取り入れながらフォローアップを行った。

【フォローアップ事業者数】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
巡回訪問	48	21	21	38	8	136

■評価委員 評価

・評価

A	B	C	D
3	8	0	0

【評価委員長コメント】

- ・事業計画策定後のフォローアップでは、各商工会が定期的な巡回訪問を実施し、計画の進捗確認を行った点が評価できます。
- ・目標としたフォローアップ事業者数 105 社に対し、実績は 131 社となり、予定を超える支援が実施されました。
- ・しかし、原材料費の高騰など外部環境の変化により、計画の見直しが必要となる事業者が増えていることが確認されたため、今後は、事業計画の策定段階から柔軟な修正が可能なフォローアップが求められます。

8. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

■事業内容

①商談会出展斡旋及び活用による販路開拓事業（BtoB）

- ・首都圏でプロのバイヤーが一堂に会する商談会「地方銀行フードセレクション」の開催情報提供と小規模事業者の積極的な参加提案と参加帯同することで商品・サービスの新たな販路開拓支援に取り組む。商談会出展が目的ではなくあくまでも商談会での成約件数を増やすことが目的であるため、商談会参加の事前研修を行うとともに商談後には商談相手へのアプローチ支援も含めた成約へ向けた一連の支援を行う。

◇支援対象

- ・事業計画を策定し計画に基づいて新たな顧客獲得の取り組みに自ら行動に移している事業者
- ・石川地区内で食品の加工及び販売し、商品開発や改良に取り組みを検討している事業者
※石川地区は日本酒を始め麺類・納豆などの加工食品や6次化商品の加工販売に取り組んでいる小規模事業者が多いことから新たな需要開拓へ向け重点的に支援する。

◇出展者の事前研修

【研修内容】商談会成約へ向けた心構えと準備

【講師】バイヤー・スーパーバイザー・中小企業診断士等

◇商談会参加

【参加商談会】地方銀行フードセレクション

○商談会概要と開催規模

加工食品を主とした商談会で国内中からプロのバイヤーやSV・飲食店などが仕入れ先を求めて約13,000人（1,100社）集まる国内最大級の食の商談会

○対象者

- ・石川地区内で加工食品の製造販売に取り組んでいる小規模事業者
- ・6次化商品の製造販売に取り組んでいる事業者

【出展事業者】5事業者/年

【出展業種】食品・加工食品製造販売事業者

【商談会参加事業者数（BtoB）】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
参加者数	1	1	1	1	1	5

【成約件数（BtoB）】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
参加者数	3	3	3	3	3	15

●実施内容

①物産展参加及び開催による販路開拓事業（BtoB）

◎出展者の事前研修

商談会に参加希望の事業者へ「商談会及物産展対策セミナー」を開催し、商談会参加に対しより効果を上げるための「事前準備」「当日対応」「フォローアップ」の研修を行い成約率アップへ向けた内容について説明を行った。

◎商談会参加

11月15日～17日の3日間「池袋サンシャイン」で開催した「ニッポン全国物産展」に地区内で6次化商品の加工食品の製造販売を行っている1事業者で参加し、全国の一般消費者及びバイヤーへ向け試食・試飲を行いながら取引先獲得とその後の商談へ向けた支援を行った。また、11月30日・12月1日の2日間「日本橋ふくしま館」において、福島県石川郡6次化商品物産展を開催し、一般消費者向けに商品の販売及びPR活動を実施した。なお、会場では改良を視野に入れている商品の試食・試飲によるヒアリング調査を実施し、会場を訪れた一般消費者へアンケート調査を実施し商品の改良案に向けた取り組みを実施した。

【商談会参加事業者数及び商談会による取引成約件数】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
参加者数	2	1	0	1	1	5
成約件数	3	0	0	0	0	3

■評価委員 評価

・評価

A	B	C	D
2	5	4	0

②ECサイト開設やSNS活用によるによる販路開拓支援 (BtoC)

- ・既存顧客の商圈が近隣町村までの商圈に偏ってしまう小規模事業者が多いことから。ECモール等を活用したECサイト開設による販売の提案を継続的に行う。開設にあたっては商品ラインナップやPR方法など福島県よろず支援拠点や中小企業基盤整備機構東北本部と連携しWEBやITの専門家派遣を活用しながら支援を行う。また、効果的なPRに繋げるために、動画やコメントの活用方法の支援も外部専門家と連携して行う。

具体的な活用ツールとしてECモールはランニングコストの少ない「BASE」「shopify」等を提案する。SNSについては魅力を数珠つなぎに拡散することができる「Instagram」「Facebook」の利用提案を行い継続的な支援に取り組む。

「活用サイト」ECモール・・・「BASE」「shopify」
 SNSアプリ・・・「Instagram」「Facebook」

「活用事業者数」ECモール・・・35事業者/年
 SNSアプリ・・・35事業者/年

【ECサイト開設・SNS活用事業者数 (BtoC)】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
事業者数	15	5	5	5	5	35

【売上増加事業者数 (BtoC)】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
事業者数	6	2	2	2	2	14

●実施内容

②ECサイト開設やSNS活用によるによる販路開拓支援（BtoC）

◎Instagramや動画を活用した販路開拓セミナー開催

販路開拓に活用されることが一般的となり、様々な事業者がビジネスで利用しているInstagramについて、ターゲットとしている消費者へ自社の商品、サービスの魅力を伝える為にはどうすればよいか、消費者の導線を考慮した発信方法を探り、インサイト分析を通じたデータの活用もしながら、写真や動画の投稿を実施していくことの重要性について、外部専門家による講義を実施した。

【Instagramや動画を活用した販路開拓セミナー参加者数（BtoC）】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
R06 目標	15	5	5	5	5	35
R06 実績	13	0	1	3	3	20

■評価委員 評価

・評価

A	B	C	D
1	9	1	0

【評価委員長コメント】

- 物産展への出展やECサイト活用支援が行われ、販路開拓に貢献した点について評価できます。
- BtoCの販路開拓支援について、様々なECモール、SNSツールを有機的な活用を提案していることについて、評価できる取組となっています。
- 今後は、BtoBの新規取引先開拓のための支援強化が求められます。

10. 経営指導員等の資質向上に関すること

■事業内容

①他機関の講習会参加による職員の支援能力向上

- ・石川地区内すべての経営指導員等及び一般職員の支援能力の一層の向上のため福島県や福島県商工会連合会が主催する講習会参加に加え、計画的なスキルアップを図るため、中小企業大学校が主催する研修会に職員を派遣し小規模事業者支援に必要な知識とスキルの向上を図る。

②支援ノウハウの職員間での組織内での共有による資質向上

- ・巡回訪問や個別相談対応の際に複数職員で実施することにより、他の職員の支援方法やヒアリング手法、提案スキルなどを学びノウハウの共有に努めることで組織力を高めるとともに、個々の支援スキルの差を埋めていく。これにより質の高い小規模事業者支援に繋げる。また、石川地区内独自のシートを活用し支援データをデータベース化し組織内共有を図ることで、個々の職員に依存しない標準的な支援を展開する。

③職員間の定期的なミーティングの開催

- ・他機関の講習会に参加した経営指導員等が順番で講師を務め、小規模事業者支援に役立つ具体的な手法について説明する。事業者支援の現場で役立つツールや対話術に至るまで定期的なミーティングを（月1回年間12回）開催し意見交換を行い支援能力の向上を図る。

④DX推進に向けた職員研修会の開催

- ・石川地区の小規模事業者のDX推進は喫緊の課題である。対応にあたっては全職員のITスキルを向上させ、ニーズに合わせた相談指導を可能にするために「事業者にとっての内向けの取り組み（業務効率化等）」「事業者にとっての外向けの取り組み（需要開拓等）」「その他の取り組み（オンライン経営指導等）」などの解決能力・支援能力の向上へ向けた研修会に積極的に参加する。

●実施内容

◎石川方部商工会広域連携協議会 定額減税研修会

令和6年度税制改正に伴い、令和6年分所得税について定額による所得税額の特別控除（定額減税）が実施されることとなりました。

商工会業務として給与所得所の年末調整支援業務が年末から新年20日の期間で、会員事業向けの指導業務に際し、適切な納付支援を実施するため専門家を派遣し経営支援員を主に対象とした研修会を実施し知識の習得を図る。

【情報交換・専門的スキルアップ研修 報告】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
R06 目標	3	2	2	2	2	11
R06 実績	5	2	1	2	2	12

■評価委員 評価

・評価

A	B	C	D
6	5	0	0

●実施内容

◎石川方部商工会広域連携協議会 職員向け労働保険等基礎研修会

労働保険の密を学び会員事業所へ正しく事務処理等の支援を実施するため、研修会を実施した。労働保険の基礎や仕組み、資格取得等の実務を実践し、広く知識を習得するため研修会を開催した。

【職員向け労働保険等基礎研修会 報告】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
R06 目標	2	2	2	2	2	10
R06 実績	6	8	4	4	4	26

■評価委員 評価

・評価

A	B	C	D
4	7	0	0

【評価委員長コメント】

- 職員向けの定額減税研修会や労働保険基礎研修会が開催され、指導員のスキル向上が図られた点は評価できます。
- 目標とした研修参加回数 10 回に対し、実績は 12 回と上回りました。
- 今後は、DX 推進に関する研修も含め、支援の質をさらに高めるための施策を強化することが求められます。

【評価委員長コメント】

総括

本年度の事業実施報告では、地域経済動向調査や経営状況分析、事業計画策定支援など多岐にわたる支援が実施されました。特に、対話と傾聴を重視した経営指導員の巡回訪問や、BCP 策定セミナーの開催は事業者の成長に貢献する取り組みとして評価できます。

一方で、BtoB 向けの販路開拓や需要動向調査の実施に課題が残りました。今後は、商談会などの成約率向上に向けた施策の強化が求められます。

また、事業計画策定後のフォローアップ支援を充実させ、原材料費の高騰など外部環境の変化にも柔軟に対応できる支援体制の確立が重要です。さらに、経営指導員のスキルアップを図るための研修の充実や、DX 活用支援の強化が今後の重点課題となります。

今後は、支援内容の精度をさらに高め、地域の小規模事業者が継続的に成長できる環境を整備していくことが期待されます。